

## フォーバル、川崎市の

# 『令和8年度ESG経営（ファイナンス）普及促進事業業務委託』を受託

## 6月23日（火）に「中小・小規模企業向け特別セミナー」を開催

～川崎市内中小企業の脱炭素経営を支援し、地域経済の持続的成長を促進～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島將典、以下「フォーバル」）は、神奈川県川崎市より「令和8年度ESG経営（ファイナンス）普及促進事業業務委託」（以下「本事業」）を受託しました。また、本事業の業務の一環として、6月23日（火）に「中小・小規模企業向け特別セミナー」を開催します。本受託を通じ、川崎市の中小企業の長期的な持続可能性と成長を目指す経営手法を支援いたします。



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

### 事業受託の背景と目的

川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現を掲げた戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、全庁を挙げて取り組みを推進しています。国のグリーン成長戦略においても地域金融の重要性が示される中、川崎市ではESGファイナンスの活用を通じた企業の脱炭素化支援を進めてきました。一方で、大企業によるサプライチェーン全体への脱炭素要請は急速に広がっており、中小企業におけるESG経営の普及は喫緊の課題となっています。こうした背景のもと、フォーバルは本事業を受託し、川崎市内企業の課題の整理・分析を行うとともに、ESGファイナンスの活用促進を通じて企業価値の向上と地域経済の好循環創出への貢献を目指します。

### 委託業務の内容

2027年3月に、プライム市場上場企業へのSCOPE 3における温暖化ガス排出量の開示義務化が予定されているなど、ESGを取り巻く情勢を注視し、的確な支援策を実施する必要があることから、下記の施策に取り組みます。なお、次期川崎市総合計画において、脱炭素関連に取り組む市内中小企業の割合に関する指標を設定する予定としており、その向上を目指して実施するものとしています。

- (1) ESG経営実態把握調査等を踏まえた、市内中小企業を対象としたESG経営の普及促進
- (2) 伴走支援によるESG経営の実践促進
- (3) 脱炭素経営支援コンソーシアムの活用による情報交換等における企画・運営補助及びサステナビリティ情報開示等に関連する情報収集や対応策の普及促進

## 中小・小規模企業向け特別セミナーについて

ESG経営は大手企業だけでなく、中小企業や小規模企業にとっても持続可能な成長と顧客の信頼を得るために必要な鍵となります。本セミナーではESGの重要性と実践の仕方を解説します。  
※ESG経営とは、企業が「環境（Environment）」「社会（Social）」「ガバナンス（Governance）」の3つの要素を考慮し、長期的な持続可能性と成長を目指す経営手法です。

日時：2026年6月23日（火）13:30～15:00（13:00から受付開始）  
会場：川崎市役所本庁舎 203・204会議室(オンライン ハイブリッドにて開催)  
参加費：無料  
定員：会場50名  
主催：川崎市  
講師：フォーバル GDXRリサーチ研究所  
所長 平良 学

- 申し込みフォーム：[https://form.k3r.jp/forval\\_shutoken2/kawasaki8\\_seminar](https://form.k3r.jp/forval_shutoken2/kawasaki8_seminar)
- 詳細はこちら：<https://www.forval.co.jp/event/detail.php?id=1777001563-025194>

川崎市の中小・小規模企業向け特別セミナー 主催：川崎市

### ESG経営による高付加価値企業への転換

～選ばれる企業になるために～

**参加無料**  
2026/6/23 13:30～15:00

会場：川崎市役所本庁舎 203・204会議室  
定員：会場50名  
※定員になり次第締め切らせていただきます

**こんな経営者におすすめの内容！**

- ESG経営を知らない、聞いたことがない
- ESG経営を聞いた事はあるがよく分からない
- 選ばれる企業になるための手段を知りたい

**テーマ**

ESG経営の概要や必要性をわかりやすく解説  
ESG経営は大手企業だけでなく、**中小企業や小規模企業にとってESG経営が成長と競争の原動力を高めるために必要な鍵となります。**本セミナーではESGの重要性と実践の仕方を解説します。

※ESG経営とは、企業が「環境（Environment）」「社会（Social）」「ガバナンス（Governance）」の3つの要素を考慮し、長期的な持続可能性と成長を目指す経営手法です。

**講師紹介**

株式会社フォーバル  
GDXRリサーチ研究所 所長 平良 学  
1992年に株式会社フォーバル入社。九州食品の再建やコンサルティング事業の立ち上げ・経営支援で、2022年に「フォーバルGDXRリサーチ研究所」創設と共に独立。企業「ブルーボート」の発行や自治体連携による講演なども実施。中小企業ESG推進に取り組み中。

**参加無料**

### セミナー参加者限定！ESG伴走支援

自社の経営状態や業務フローの可視化、計画の作成、ツール活用へ向けて専門家に伴走型の支援を**10社限定**で実施いたします。

**STEP 1**  
現状把握と課題整理  
ヒアリングや現状把握、業務で使う情報を可視化する事で診断結果を元に課題を整理。短期～長期的目標を設定します。

**STEP 2**  
ESG計画の策定  
抽出した課題を解決するための計画書（ロードマップ）を作成し、対象支援企業と課題に対する意識、方向性を共有します。

**STEP 3**  
必要ツールの導入支援  
該当するESGアドバイザーが導入した必要ツール提供先と連携することでツールをより活用できる環境を整え、課題解決を支援します。

**STEP 4**  
ツール活用効果測定  
ツール導入前と導入後について、専門的な観点から効果測定を実施します。

※セミナー参加者を対象とした事前申込制  
※詳細な流れは、セミナーにて説明いたします  
※申込者多数の場合は抽選にて選定させていただきます

**POINT!**

### 中小企業がESG経営に取り組むメリット

- 経営リスク軽減  
企業価値向上  
人材確保  
資金調達力向上

選ばれる企業になるためにESG経営は重要！

## 株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

### ■会社概要

社名：株式会社フォーバル  
代表：代表取締役社長 中島 将典  
設立：1980年（昭和55年）9月18日  
所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階  
URL：<https://www.forval.co.jp>

【本件に関する報道関係のお問合せ先】

フォーバルPR事務局

TEL：03-6821-7863 MAIL：[forval\\_pr@vectorinc.co.jp](mailto:forval_pr@vectorinc.co.jp)